

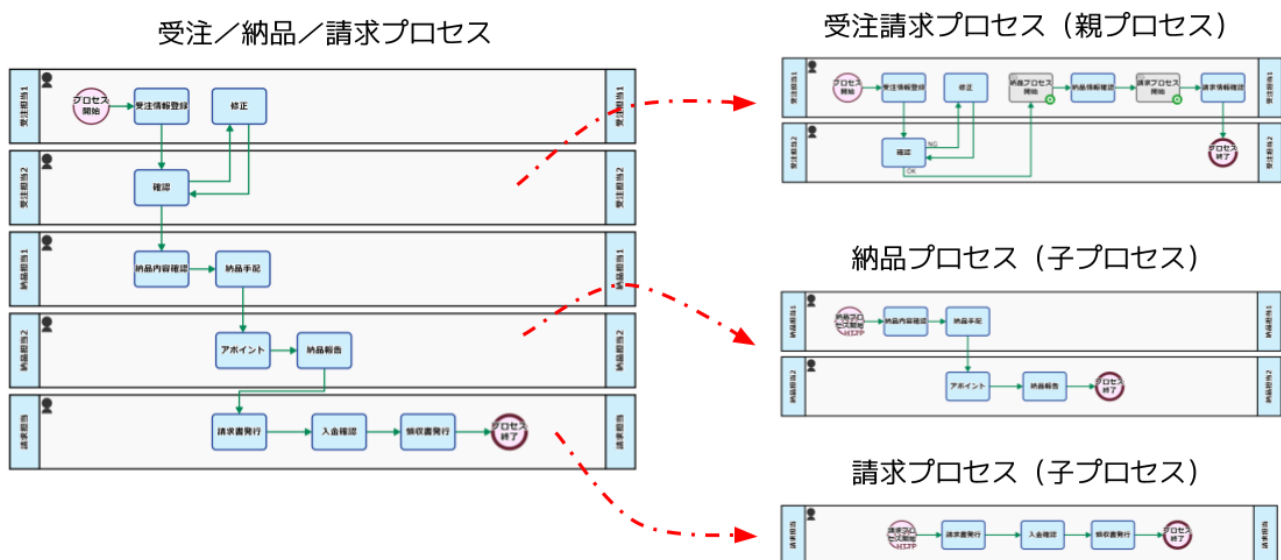
クエストラ:ノーコード開発プラットフォームv15.0、サブプロセス機能を強化 ～ サブプロセス化された業務のデータを親プロセスで一元管理 ～

SaaSベンダーの株式会社クエストラ(京都市、代表執行役 CEO 今村元一)は4月17日、ノーコード開発プラットフォーム『Questetra BPM Suite』の新バージョン15.0を公開しました。新バージョン15.0では、子プロセス(サブプロセス)のデータを親プロセスから参照できるようになり、業務プロセスの効率的な分割運用が可能となります。

例えば、受注から請求に至る業務プロセスには、顧客登録など多くのサブ業務が含まれるとともに、複数の部署が関わります。このような大規模な業務プロセスでは、サブ業務毎にプロセスを改良したいというニーズや、部署毎に業務データを管理したいというニーズが多く見られました。『Questetra BPM Suite』では、大規模プロセスを分割する機能(サブプロセス化)により、このようなニーズに対応してきました。しかし、分割データの管理が困難になってしまうという課題があったと言えます。

新バージョン15.0では、分割された複数の子プロセスのデータを親プロセスから参照できるため、子プロセス毎のデータ管理に加え、大規模プロセス全体のデータを一括して管理できるようになります。

大規模プロセスを分割



サブプロセス化のイメージ

【Questetra BPM Suite とは】

Questetra BPM Suiteは、クラウド型の業務プロセス管理システム (SaaS BPMS) です。業務フロー設計やタスク自動化、進捗管理などの機能があります。視覚化された業務プロセスとAPI連携で業務効率化が実現し、社内のコミュニケーションやコラボレーションの改善に貢献します。カスタマイズが容易であるため、各組織に応じた業務プロセス管理が可能です。また、クラウド型のため運用コストを抑え、リモート環境での活用も可能です。

(業務フロー図サンプル: <https://questetra.zendesk.com/hc/ja/articles/360012492211>)

【サービスタスク(子プロセス開始)】

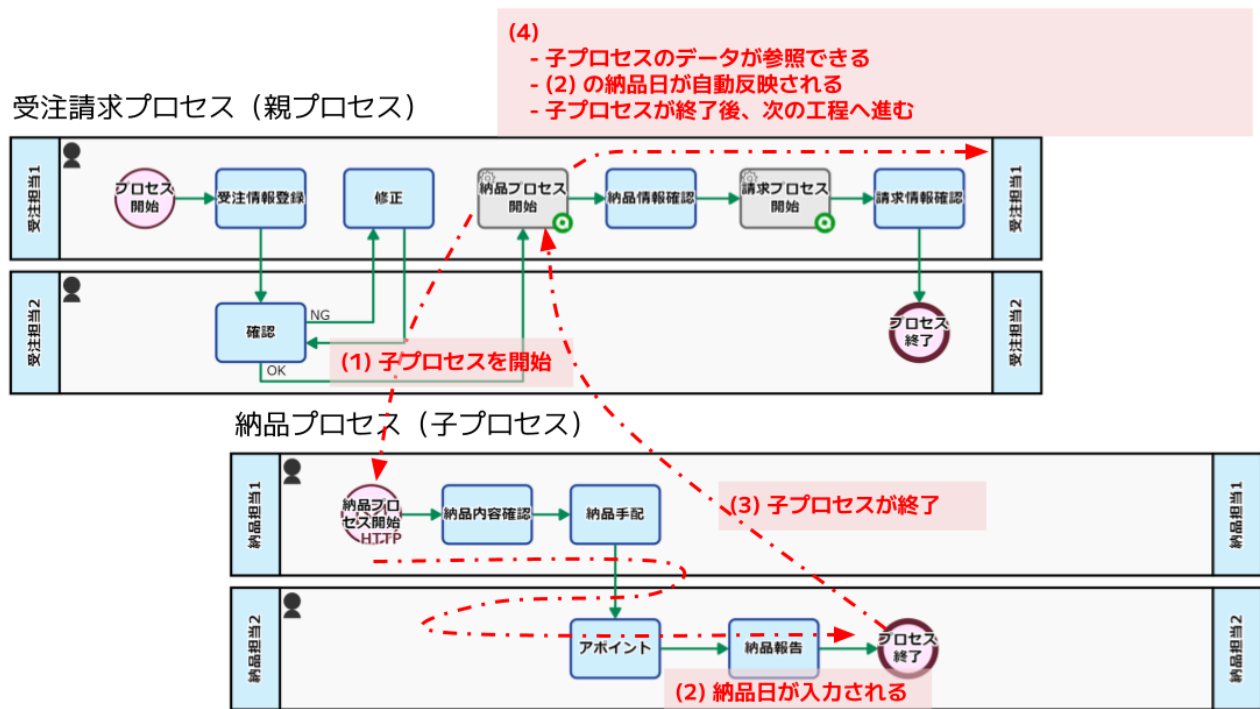
* 親プロセスから子プロセスのデータを参照

子プロセスが終了すると、子プロセスのデータを親プロセスに自動反映させる設定が可能になりました。ただし、親プロセスから参照できるデータは、子プロセスで許可されたデータのみとなります。

* 子プロセスの完了を待機

プロセス間の連携設定において、子プロセスの終了を待機させる設定が可能になりました。つまり、例えば「受注プロセス」(親プロセス)の途中で「納品プロセス」(子プロセス)が自動的に開始される仕組みを構築していた場合、「納品プロセス」(子プロセス)で入力されたデータ(納品日など)を「受注プロセス」(親プロセス)側に反映させることができるようになります。

※対象エディション: Professional



★詳細については、リリースノートをご参照ください。

Ver. 15.0 リリースノート: <https://support.questetra.com/ja/versions/version-150/>

★サンプル画像はこちらをご参照ください。

<https://questetra.com/ja/info/subprocess-management-20230417/#sample>

【クエストetra社について】

株式会社クエストetraは京都を拠点とする SaaS BPM ベンダーです。世界中のビジネスプロセスを最適化します。

商号: 株式会社クエストetra (Questetra, Inc.)

代表: 代表執行役CEO 今村 元一

所在地: 京都市中京区御池通間之町東入高宮町206 御池ビル4階

設立: 2008年4月

資本金: 1億8365万2500円

URL: <https://questetra.com/ja/>

本プレスリリースに関する問い合わせ: pr@questetra.com or 075-205-5007